

アルコール健康障害、薬物依存症、ギャンブル等依存症対策全国センターについて

アルコール健康障害・薬物依存症・ギャンブル等依存症対策全国センター
久里浜事務局長

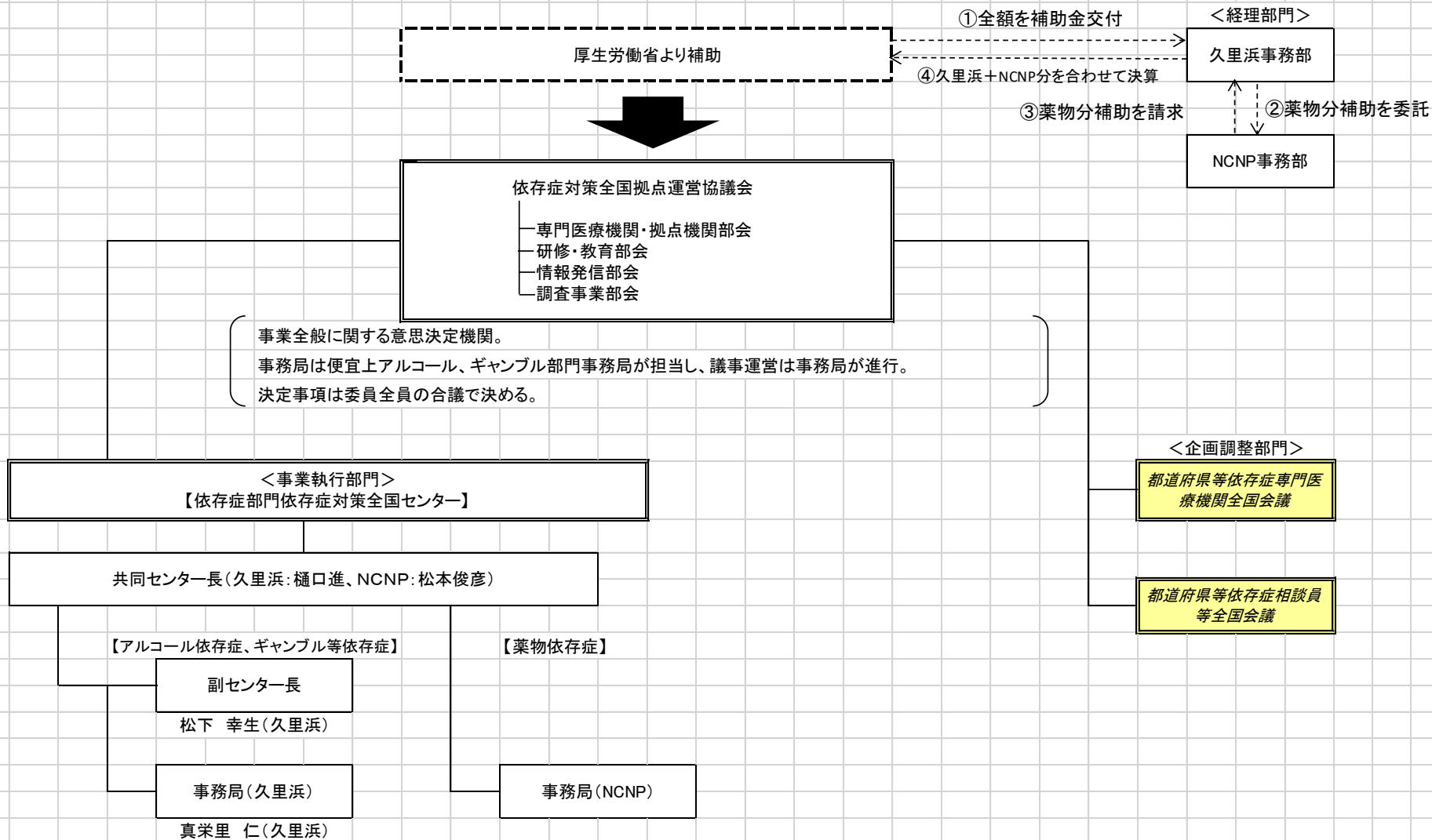
久里浜医療センター教育情報部長

真栄里仁

組織概要

- 依存症対策全国拠点機関設置運営事業（平成29年6月13日通知）の事業執行部門
- 同事業では「アルコール健康障害、薬物依存症、ギャンブル等依存症対策全国センター」として、久里浜医療センターを指定
- 樋口進（久里浜医療センター院長）、松本俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部長）が共同センター長
- アルコール健康障害、ギャンブル等依存症は久里浜医療センター、薬物依存症は国立精神・神経医療研究センター（NCNP）が担当
- 略称：依存症対策全国センター
- 英語名：National Center for Addiction Services Administration
(NCASA : エヌカーサ)

アルコール健康障害、薬物依存症、ギャンブル等依存症対策全国センター組織図



主な事業内容

- I. 研修
- II. 会議
- III. 情報発信(ホームページ)
- IV. 調査事業(研究)

I . 研修①

- 精神保健福祉センター等職員研修
(依存症相談対応者養成研修)
- 専門医療機関等職員研修
(依存症治療指導者養成研修)
- 都道府県等・市区町村で依存症者の生活支援を行っている担当者の研修
(地域生活支援指導者養成研修)

各地で研修を行う、指導者を養成する研修

I . 研修②

- 依存症回復施設職員研修

- DARC,MAC等職員対象

- アルコール：平成29年8月28日～29日、平成30年2月 5日～6日

- 薬物： 平成30年2月 20日～21日

- ギャンブル：平成30年3月22日～23日

Ⅱ. 全国会議

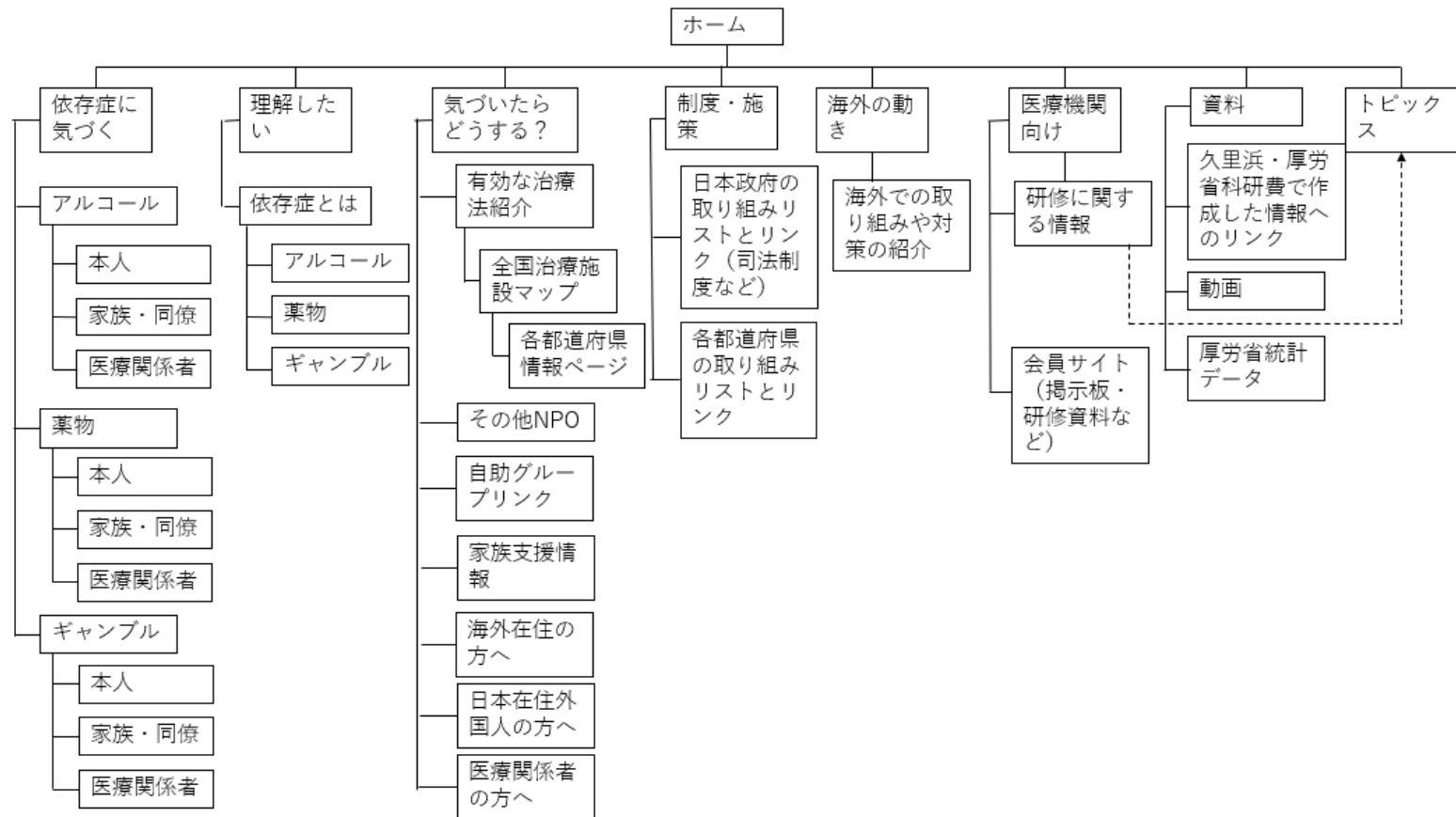
- 都道府県等依存症専門医療機関全国会議
 - ✓ 依存症専門医療機関の医療従事者対象
- 都道府県等依存症相談員等全国会議
 - ✓ 精神保健福祉センター等、相談拠点の依存症相談員等対象

各地域の依存症患者等の状況や課題、相談の現状などの情報共有を目的とした会議

Ⅲ. ホームページ①

- 対象：行政機関、医療機関、一般国民
- 目的：①情報提供による、依存症の相談・治療等の支援
②治療体制、自助グループ等の地域の支援体制の整備の推進

Ⅲ. ホームページ②



IV. 調査事業①

- 依存症者の実態や併存疾患等の実態を明らかにし、依存症対策を推進するための調査研究
- 年度単位で調査報告ができるものだが、数年間に亘る調査も可能
- AMED等と重複しない内容

IV. 調査事業②

～平成30年度計画案～

- アルコール依存症者・家族の実態等の社会医学的要因調査
- 薬物依存症・家族の生活支援に資するための実態調査
- ギャンブル等依存症者に関する疫学的な視点の調査に必要な準備
- 最終的に調査事業部会で事業内容について決定予定

次年度に向けて

- 今年度は事業開始が遅れたこともあり、研修や会議については暫定的なものとなっている。
- 研修については、依存症種別にも含めて検討中
- 会議も今年度は、事業概要の共有化が主たる内容
- 連絡先等も含めた詳細については、今後ホームページを通して周知していく。
- 本事業ホームページはドメイン取得作業中だが、今年度中に開設する。久里浜医療センターからリンクを張る予定。